

高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第33週（8月15日～8月21日）

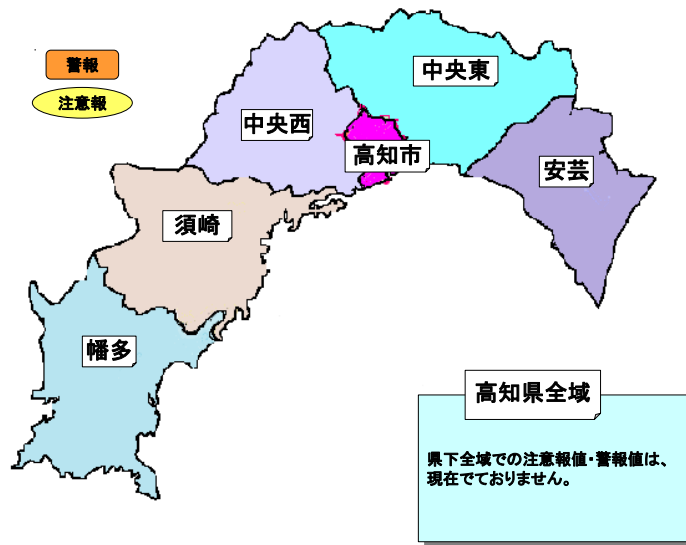
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	1.50	須崎で急減していますが、幡多、安芸で急増、県全域、高知市で増加しています。
RSウイルス感染症	↘	1.11	中央西、中央東、須崎で急減、県全域で減少していますが、高知市で増加しています。
手足口病	↑	0.64	安芸で急減していますが、県全域、高知市、須崎、幡多、中央東で急増しています。
ヘルパンギーナ	↑	0.29	県全域、幡多、中央西で急増、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	↘	0.25	幡多、須崎で急減、県全域で減少していますが、高知市で増加しています。
突発性発疹	↗	0.25	安芸、中央東で急減していますが、高知市、須崎、幡多で急増、県全域で増加しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- ・普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴム紐を耳にかける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う

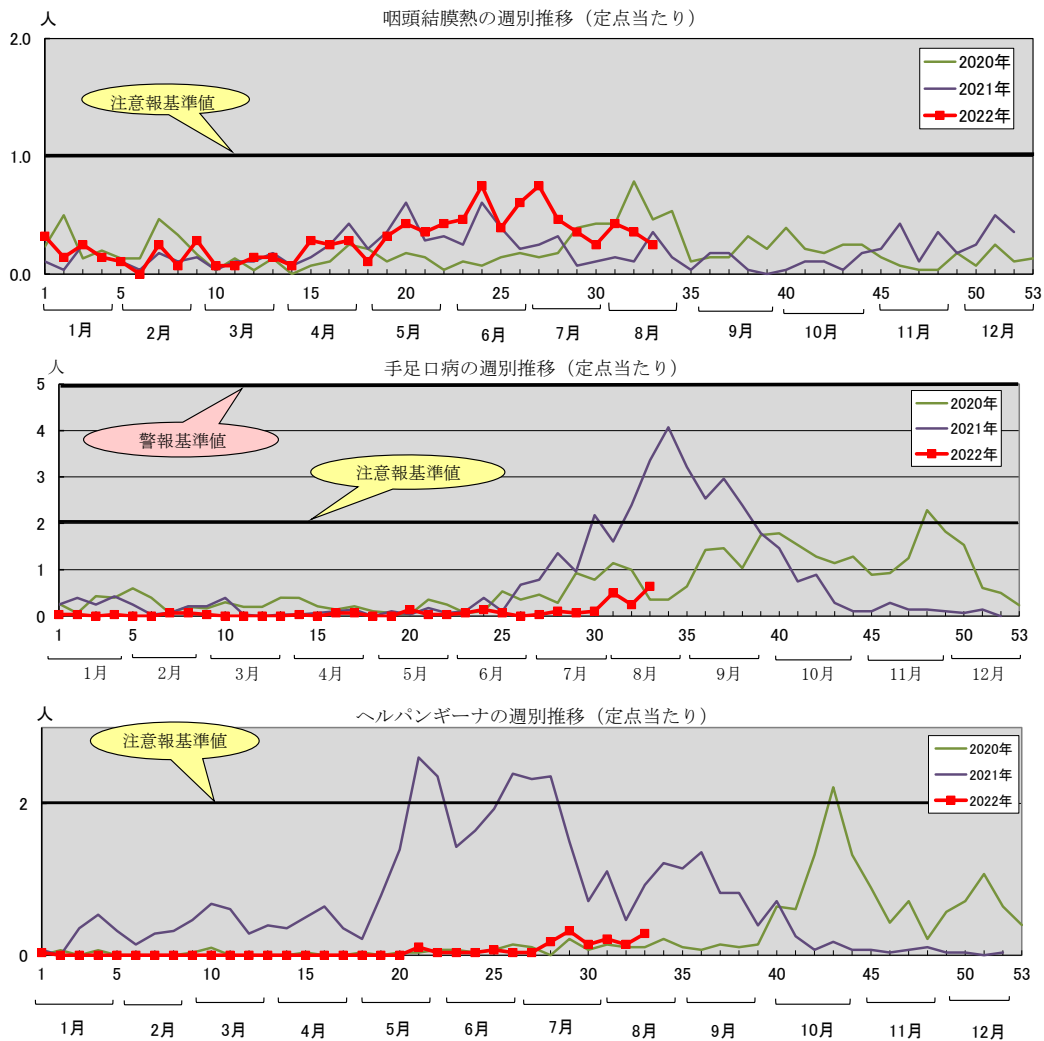


★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○夏型感染症（咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

例年、6月頃から報告数が増えはじめ7～8月頃にピークを迎える夏型感染症の報告が増加していますので注意しましょう。

これらの病気は、経口・接触、咳やくしゃみによる飛沫で感染します。症状は、発熱、咽頭痛に加え、手足口病やヘルパンギーナでは水疱性発疹がみられます。両疾患の原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層である5歳以下の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。また、特異的な治療がないため対症療法となります。安静にし、十分な水分補給を行ってください。



<予防方法>

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

第33週に高知市保健所から「日本紅斑熱」の発生届が1例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	42	70歳代 女性	幡 多
4類	日本紅斑熱	1	4	60歳代 男性	高知市
5類	梅 毒	1	28	20歳代 男性	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例（4歳女）
中央東	早明浦病院小児科	エルシニア腸炎 1例（6歳男：医療センターに転院） COVID-19 9例（4歳～14歳）
	JA 高知病院小児科	サルモネラ腸炎 1例 マイコプラズマ気管支炎 3例
高知市	高知医療センター小児科	大腸菌 1例（6歳男） サルモネラ 2例（6歳男、7歳男） ヒトメタニューモウイルス 2例（2歳女、4歳男） RSウイルス 14例 （1か月女2人、3か月女、10か月男、1歳男、1歳女4人、2歳男、2歳女2人、3歳男、3歳女）
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 3例（6歳、7歳：同胞、8歳） 病原性大腸菌（血清型不明） 1例（8歳） アデノウイルス咽頭炎 3例（1歳、2歳2人）
	国立病院機構高知病院小児科	COVID-19 1例（5歳男：感染性胃腸炎感染）
	三愛病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例（3歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 1例 手足口病 4例 ヘルパンギーナ 4例

保健所	医療機関	情報
中央西	くぼたこどもクリニック	RS ウイルス+アデノウイルス混合感染 1 例（1 歳男） ヘルパンギーナ 1 例（1 歳男：仁淀川町）
	日高クリニック	帯状疱疹 1 例（64 歳女）
須崎	もりはた小児科	ヒトメタニューモウイルス感染 1 例（3 歳女） 32wサルモネラ O7 腸炎 2 例（4 歳、5 歳）
幡多	さたけ小児科	アデノウイルス 1 例（2 歳女） COVID-19 14 例（1~12 歳）

★県外で注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは抗体検査で確認することができます。赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種をうけることをご検討ください。

風しんは、今は成人に多い病気で、特に 10 代後半から 50 代前半の男性、20 代から 30 代の女性が多く発病しています。

特に昭和 54 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和 54 年 4 月 1 日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。このことから、風しんの追加対策として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性には 2023 年 3 月 31 日までの間、無料の抗体検査及び予防接種（抗体検査で陰性の方を対象とする）が受けられるクーポン券が住民票のある市町村役場から発行されます。対象者の方は、まずは抗体検査の実施をお願いいたします。クーポン券の発行等についてはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

【無料の風しんの抗体検査について】

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後 1~2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

- 風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	県外	総計
7月	25	月	10	67	148	22	12	9	3	271
	26	火	39	218	408	123	71	101	2	962
	27	水	32	170	451	94	37	60	4	848
	28	木	31	160	453	64	43	54	5	810
	29	金	26	137	454	72	37	61		787
	30	土	34	145	447	61	58	64	3	812
	31	日	31	100	420	54	41	43	2	691
8月	1	月	5	78	202	27	27	18		357
	2	火	48	207	451	106	94	115	2	1,023
	3	水	43	191	521	101	81	82	2	1,021
	4	木	65	228	611	101	86	70	3	1,164
	5	金	47	175	649	93	86	77	3	1,130
	6	土	68	244	604	108	72	94	1	1,191
	7	日	39	147	751	56	87	55	7	1,142
	8	月	13	111	190	65	29	29		437
	9	火	68	222	449	174	78	176	3	1,170
	10	水	87	297	682	125	105	146	2	1,444
	11	木	45	282	749	133	76	120	3	1,408
	12	金	32	126	750	49	32	66	1	1,056
	13	土	66	234	525	146	101	186	4	1,262
	14	日	42	233	591	142	120	64	6	1,198
15	月	27	101	451	57	30	74	3	743	
16	火	107	332	502	182	104	158	5	1,390	
17	水	109	333	801	222	160	238	10	1,873	
18	木	98	274	850	188	157	262	5	1,834	
19	金	103	291	854	179	135	233	9	1,804	
20	土	87	312	900	174	104	156	5	1,738	
21	日	123	288	898	125	106	152	1	1,693	
総計			2,473	11,202	39,708	6,451	3,688	5,991	126	69,639

数字は各地域でその日陽性が確認された数
総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2022年8月22日現在の情報により作成
しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	保健所	第33週 令和4年8月15日(月)～令和4年8月21日(日)							高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(32週)	高知県(33週末累計) R4/1/3～R4/8/21	全国(32週末累計) R4/1/3～R4/8/14	
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	111 (0.02)	11 (0.24)	1,384 (0.28)	
小児科	咽頭結核熱			6			1	7 (0.25)	10 (0.36)	246 (0.08)	269 (9.61)	19,700 (6.28)	
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			1			1	2 (0.07)	3 (0.11)	591 (0.20)	225 (8.04)	31,570 (10.07)	
	感染性胃腸炎	2	9	22			9	42 (1.50)	29 (1.04)	4,838 (1.61)	2,635 (94.11)	434,377 (138.51)	
	水痘	1		2				3 (0.11)	3 (0.11)	157 (0.05)	86 (3.07)	7,423 (2.37)	
	手足口病		1	12	1		2	2	18 (0.64)	7 (0.25)	7,911 (2.64)	75 (2.68)	62,222 (19.84)
	伝染性紅斑							()	()	18 (0.01)	11 (0.39)	1,272 (0.41)	
	突発性発疹			5			1	1	7 (0.25)	4 (0.14)	625 (0.21)	311 (11.11)	31,642 (10.09)
	ヘルパンギーナ			5	1			2	8 (0.29)	4 (0.14)	1,773 (0.59)	47 (1.68)	14,501 (4.62)
	流行性耳下腺炎							()	()	53 (0.02)	21 (0.75)	2,898 (0.92)	
	RSウイルス感染症		1	26	4				31 (1.11)	46 (1.64)	4,757 (1.59)	203 (7.25)	60,452 (19.28)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	()	()	98 (0.14)	
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	1 (0.33)	84 (0.13)	15 (5.00)	3,684 (5.34)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	4 (0.50)	175 (0.37)	
	無菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	()	256 (0.54)	
	マイコプラズマ肺炎							()	()	9 (0.02)	5 (0.63)	201 (0.42)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	19 (0.04)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	8 (1.00)	70 (0.15)	
計 (小児科定点当たり人数)	3 (1.50)	11 (1.57)	80 (8.78)	6 (1.99)	4 (2.00)	15 (3.00)	119 (4.22)			21,189	3,926 (138.93)	671,944	
前週 (小児科定点当たり人数)	3 (1.50)	27 (3.86)	50 (5.43)	13 (4.33)	6 (3.00)	8 (1.60)		107 (3.79)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	保健所	第33週							高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(32週)	高知県(33週末累計) R4/1/3～R4/8/21	全国(32週末累計) R4/1/3～R4/8/14	
インフルエンザ	インフルエンザ								0.04	0.03	0.24	0.26	
小児科	咽頭結核熱			0.44			0.50	1.00	0.36	0.43	0.13	9.36	6.19
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.11	0.33			0.20	0.11	0.04	0.28	7.96	9.86
	感染性胃腸炎		1.29	1.89			0.50	0.40	1.04	1.93	2.38	92.61	136.75
	水痘	0.50					1.00		0.11	0.07	0.06	2.96	2.31
	手足口病	0.50		0.44	0.33	0.50			0.25	0.50	3.32	2.04	17.31
	伝染性紅斑										0.01	0.39	0.40
	突発性発疹	0.50	0.14	0.22					0.14	0.25	0.29	10.86	9.87
	ヘルパンギーナ			0.44					0.14	0.21	0.79	1.39	4.05
	流行性耳下腺炎										0.02	0.75	0.91
	RSウイルス感染症		2.43	1.89	3.67	0.50			1.64	1.29	2.32	6.14	17.73
眼科	急性出血性結膜炎											0.14	
	流行性角結膜炎			1.00					0.33		0.18	4.67	5.20
基幹	細菌性髄膜炎										0.50	0.35	
	無菌性髄膜炎									0.02		0.52	
	マイコプラズマ肺炎									0.01	0.63	0.40	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.04	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								0.13		1.00	0.14	
計 (小児科定点当たり人数)	1.50	3.86	5.43	4.33	3.00	1.60	3.79				134.70		
前週 (小児科定点当たり人数)	1.25	4.14	7.73	1.33	4.50	3.80		4.76					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第33週)

